

■児童・生徒の学力の状況

○「板橋区学習ふりかえり調査」及び「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」においては、正答率が都の平均よりも下回っていて、個別に支援を必要とする生徒が多数見られる。  
○全体的に落ち着いた態度で授業を受けているが、RSTの結果から「読み解く力」が明らかに足りない生徒が多い。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

○授業規律や落ち着いた学習環境の整備について、学校全体で共通理解を図る必要がある。  
○個に応じた指導の改善を重点的に行い、意欲的に学ぶ姿勢を身に付けさせ、全体的な学力の向上を図る。  
○協働的な学習や課題解決学習など様々な学習形態を工夫・改善し、学習に主体的に取り組む姿勢をつくる。  
○学習習慣を身に付けさせ、自己実現を図ろうとする態度を育成する。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○授業規律を徹底し、学び合い学習を推進し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。  
○「学習のシラバス」を作成し、生徒が各教科の学習内容の流れをつかみ、見通しを立てて学習を進めることができるようにする。  
○全教科を通して言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成する。  
○フィードバック学習を生かした自主学習を推進するとともに、長期休業中や放課後の補充教室を通して基礎・基本の徹底を図る。  
○数学・英語において少人数習熟度別授業を行って、個に応じたきめ細やかな指導に努める。  
○ICT機器の活用や授業方法の工夫について校内研修や研究授業を実施し、積極的活用を図る。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探究型の授業	協働学習の導入	指導と評価と支援の一体化
○地域素材の教材化を図り、横断的な学習に取り組む。 ○体験活動を通して、興味・関心を呼び起こすとともに、より深化させた学習に取り組む。	○ペアや小グループなどの学習形態を工夫し、生徒が集団で意見を共有する学習活動を適宜取り入れる。	☆本時の流れを明確化し、生徒がめあてに対して振り返りを行う時間を毎時間設定する。

（☆は、学びのエリアで共通）

■板橋区教育委員会グランドデザイン2018の実現に向けた取組

確かな学力の定着	教員の指導力向上	豊かな心と健やかな体の育成	社会に開かれた教育課程の実現等
○学習のねらいの明示と振り返りを毎時間行い、「板橋区授業スタンダード」に基づいた授業を全学級で行う。 ○「全国学力・学習状況調査」等の学力調査の結果を学力向上部会を中心に分析し、正答率の低い分野に家庭学習や補習教室などで重点的に取り組む。 ○大学生ボランティアによる放課後学習や休み時間における個別指導を充実させる。	○全学級でICT機器を効果的に活用し、重要な部分を拡大して提示したり生徒の考えの共有化を図ったりする。 ○教職員の課題に応じ、板橋区教育支援センター主催の研修に全教員が1回以上参加するとともに研究推進委員会を中心に校内OJTを推進し教員の指導力の向上を図る。	○道徳の教科化に向け、考え議論する道徳の授業を全学級で行い、道徳科への積極的な移行を進める。 ○アセスメントの結果を分析し、支援が必要な生徒について教職員全体で共通理解を図り、学習環境を整え、個に応じた指導を充実させる。	☆学びのエリアで家庭学習の状況や授業規律について共通化し、9年間を通じて落ち着いた環境の中で学習に取り組めるようにする。 ○目指す生徒像を地域と共有し、実現したい目標を立てて協力して取り組んでいく。

（☆は、学びのエリアで共通）